

～インプラントメンテナンスのためのソリューション～
ダメージを抑えながら効果的なデブライドメントを実現する「Straumann® TiBrush™」が登場

歯科用インプラント(人工歯根)等の輸入販売を行うストローマン・ジャパン株式会社(東京都千代田区、代表取締役社長 嶋田 敦)は、2013年9月2日にインプラントメンテナンスのためのソリューションとして Straumann® TiBrush™ を発売いたします。

近年、インプラント治療の普及とともに、合併症のひとつでもあるインプラント周囲炎への対応も重要な位置を占めるようになってきました。今回、発売となる Straumann® TiBrush™ は、周囲炎によって生じた骨欠損部位のチタン製インプラントサーフェイスに対し、ダメージを抑えながら効果的なデブライドメントを行うためのインストルメントです。

本製品を用いることにより、キュレットと比較して、デブライドメント処置におけるチタン製インプラントサーフェイスへのダメージの軽減が見込め^{*1}、また、汚染されたインプラントサーフェイスをさらに効果的、効率的に処置することが可能になります^{*1,2}。Straumann® TiBrush™ でのメンテナンスはインプラント周囲組織の環境改善を実現し、インプラントの予後の安定に役立ちます。

ストローマン・ジャパンは今後も高品質で信頼のおける革新的な製品の提供を続けるとともに、患者様のニーズに応じた幅広いソリューションの提供に取り組んでまいります。

製品名:「Straumann® TiBrush™」

主な製品の特長:

- 汚染されたインプラントサーフェイスをより効果的かつ効率的に処置
- ブラシの材質、形状がチタン製インプラントサーフェイスへのダメージを防止
- 細いブラシ先端部がさまざまなインプラントのスレッドにフィット
- 狭い部位にも使用可能なサイズにデザインされたチタン製ブラシヘッド
- ソフトタッチでもデブライドメントを容易にする適度な弾力性を備えたシャフト



*1) Data on file: Benchtest of TiBrush™ P1.245-001V

*2) John G et al.: Rotating titanium brush for plaque removal from rough titanium surfaces – an in vitro study. Clin Oral Implants Res. 2013 Mar 31. doi: 10.1111/clr.12147. [Epub ahead of print]

販売名: ストローマン TiBrush

分類: 一般医療機器

一般的名称: 歯科用研磨器材

届出番号: 13B1X10163000202

<製品に関するお問合せ先>
ストローマン・ジャパン株式会社 TEL 0120-418-995

<本リリースに関するお問合せ先>
ストローマン・ジャパン株式会社 広報担当: 井上 久子 (TEL: 03-5218-2812)

■ ストローマン・ジャパン株式会社について

<会社概要>

所在地: 〒100-0005 東京都千代田区丸の内 1-7-12 サピアタワー16 階
設立: 2007年8月
代表取締役社長: 嶋田 敦
従業員数: 約110名
事業内容: 医療機器の輸入販売、歯科医療に関する情報提供サービス、
歯科医療に関する技術トレーニング・セミナーの開催等
取扱製品: 歯科用インプラント(人工歯根)およびインプラント治療製品
歯周組織再生用材料およびその他歯科用医療機器
医療機器製造販売業 第一種医療機器製造販売業許可番号:13B1X10163
営業拠点: 北海道・東北／関東／中部／関西・四国／九州・中国
HP: <http://www.straumann.jp>

■ ストローマン・グループについて

ストローマンは本社をスイスのバーゼルに置く、インプラント歯科、修復歯科および口腔組織再生におけるグローバルリーダーです。ストローマンは世界の主要なクリニック、研究機関、大学と連携して、歯の置換・修復・再生を目的とした歯科修復ソリューションのためのデンタルインプラント、インスツルメント、補綴物や口腔組織再生製品の研究、開発、製造に従事しています。ストローマンの従業員数は世界で約2300人、幅広いネットワークを通して70カ国以上で製品とサービスを展開しています。

免責事項

本プレスリリースには、「将来予測に関する記述」が含まれます。これらの将来予測に関する記述は、経営陣の現時点での判断に基づくものであり、既知または未知のリスクや不確実性その他の要因によって、グループの実際の成果や業績が、予想されたものと異なる可能性を含むものです。この要因には、ストローマン製品の成功や需要、製品の旧式化の可能性、グループの知的財産の保護能力、新製品の開発と製品化、競争環境、法規制、為替レートの変動、またグループの人事判断や、収益と利益の確保、事業の適時な拡大判断、取引関係の維持、などに関するリスクがあります。これらのリスクや不確実性のいくつかが現実となった場合、またはもととなる仮定が不適切であった場合、現実の結果が本内容とは異なる場合があります。ストローマンは、発表日現在の情報を本プレスリリースで提供しており、新たな知見、今後の出来事等によるか否かを問わず、将来予測に関する記述について更新する義務を負うものではありません。